



同社が最初に手がけたM&A、湘南茅ヶ崎の老舗仕出し弁当屋「ちがさき濱田屋」(株式会社浜田屋)

“食”産業をグループ化

事業承継プラットフォームを構築する

後継者不足に悩む中小企業が増える中、食に特化した事業承継プラットフォームを展開する、まん福ホールディングス。2021年に創業した同社は、これまでに11社の事業承継を行い、承継したどの企業も順調に推移。24年にはグループ全体で年商110億円を突破した。中小企業の個性を合わせ、バリューチェーンを創造する同社の取り組みについて聞いた。

Profile

1974年生まれ。東京大学大学院を卒業し、ドイツ銀行グループに入社。その後マッキンゼー&カンパニーで経営コンサルティングを学ぶ。2007年、あきんどスシローにターン・アラウンド・マネージャーとして参画。専務、取締役COOを歴任。15年、スポーツ用品を扱うゼビオの代表取締役社長に就任。21年、まん福ホールディングスを設立。17年からカカクコムの外取締役も務めている。



まん福ホールディングス株式会社
代表取締役社長 加藤 智治 氏

食にまつわる中小企業を承継

2021年に誕生したまん福ホールディングスは、後継者不在などで悩む中小企業が増える中、食分野に特化し、事業承継を行うプラットフォームだ。設立から3年で既に神奈川県にある老舗仕出し弁当屋浜田屋、熊本にある食肉加工会社さくらや食産、静岡にある水産加工会社山佐食品など11社をM&Aにより承継している。

代表の加藤智治氏は、07年、回転寿司で知られる、あきんどスシローに経営改革リーダーとして参画。専務、取締役COOを歴任し、業界3位だったスシローを1位にまで引き上げることに貢献した実績を持つ。加藤氏は、プロ経営者として会社経営を行ううちに、創業社長のパワーや求心力に憧れ、自身も創業者として会社を立ち上げ、経営してみたいと、起業を決意したという。

「起業をしようと決意した後、「やるべきこと・やれること・やりたいこと」の3つを軸とし、